

会社案内



教育が、世界を変える。 KUMONは、 そう信じています。















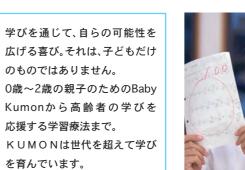




学ぶ喜びを、









学びたい気持ちは、

世界共通。

れているKUMON。それは、個人 別の学習法だから。 学びたい、という気持ちに、もっと

応えたい。

国境も文化も越えて受け入れら

いま、KUMONは50を超える国 と地域に広がっています。





自ら学ぶ力は、 生きる力になる。 一人ひとりが持つ可能性を最大 限に伸ばすこと。 それが、KUMONの使命です。 課題に立ち向かい、自分の力で 解決する経験は、今後の人生の 宝物になるはずです。







CONTENTS

KUMONの原点	2
KUMONの育むカ	4
KUMONの特長〈ちょうどの学習〉	(
KUMONの特長〈スモール・ステップ	°) {
KUMONの特長〈指導者の存在〉	10
KUMONのあゆみ	12
KUMONの世界への広がり	14
KUMONの世代の広がり	10
KUMONの活動の広がり	18
トップメッセージ	20
沿革	2
会社概要	22
	KUMONの育むカ KUMONの特長〈ちょうどの学習〉 KUMONの特長〈スモール・ステップ KUMONの特長〈指導者の存在〉 KUMONのあゆみ KUMONの世界への広がり KUMONの世代の広がり KUMONの声代の広がり トップメッセージ

原 点

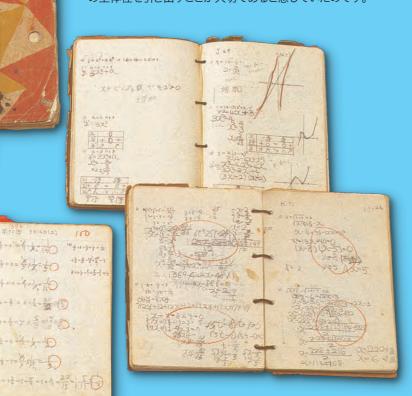
「学ぶ力」は、やがて、「生きる力」へ。 一組の親子の絆から生まれた、KUMON。

1954年 公文公が息子のために手づくりした教材。公文式教材の原型。

ひとりの父親の、わが子への愛情からはじまった公文式教育法。 半世紀以上が経ったいまも、その思想は脈々と受け継がれ、 多くの子どもたちの「学ぶ力」を育み続けています。

大切なのは、子どもの主体性を引き出す指導

きっかけは、一人の少年の算数の答案用紙でした。小学2年生の毅(たけし)少年のポケットから出てきた答案用紙を見た母親が、当時高校の数学教師をしていた夫、公文公(くもんとおる)に相談したのです。公文公はかねてから「子どもには大人が想像する以上の潜在的能力がある。子どもの可能性をできる限り引き出すことこそが教育者の務めである」と考えていました。そのためには何よりも、子どもの主体性を引き出すことが大切であると感じていたのです。





そこで、わが子のために教材をつくるときも、本人が毎日無理なく 続けることができ、かつ着実にレベルアップできるよう工夫に工夫を 重ねました。高校で教鞭をとっていた公文公は、計算力がないために 多くの高校生が数学の勉強で苦しんでいることを知っていたので、 目標を計算力の養成に絞り込み、自学自習形式で学べる教材をつく りました。人から教わるのではなく、自分の力で解き進むことによって こそ本物の学力が身につくことを、自らの教育体験によって実感して いたからです。

自己肯定感が「学ぶ力」を育てる

ルーズリーフに書かれた、手づくりの計算問題。それが今日の公文式教材の原型です。毅少年は、父親の考案した教材による毎日30分の自習でみるみる力をつけ、小学6年生の頃には微分・積分を学習できるまでにいたりました。そこで、今度は近所の子どもたちを自宅に集め同じような方法で指導したところ、どの子の学力も目に見えて上がりはじめたのです。「この方法で、一人でも多くの子どもたちの可能性を伸ばしてあげたい」。1958年、公文公は大阪に事務局を開設し、

もっと多くの算数教室を開くことを決意しました。「自学自習で高校教材」を目標に掲げ、学年を越えたところを自習させることによって、一人ひとりの能力を伸ばす。公文式教育法の本格的な普及のはじまりでした。

子どもは本来、自分から伸びようとする力を秘めています。読み・書き・計算に取り組む過程で「やればできる」という自己肯定感を育み、「自ら学ぶ力」を育てていく。子どもたちが将来自己実現を成しとげ、どんな時代でも夢や目標に向かってチャレンジしていける力、すなわち「生きる力」を育てること。それがKUMONが考える教育です。父親のわが子への愛情から生まれたKUMONは、人から人へ、街から街へと広がり、今では言葉や文化・歴史の壁を越え、世界の国々に広がり続けています。



草創期の教室風景



公文 公(1914-1995)

1914年 高知県に生まれる。大阪帝国大学理学部数学科卒業後、高知県立海南中学校教諭として赴任。 1955年 大阪府守口市で公文式教材を使った初めての算教教室を開設。

1968年 33年間の教職生活にピリオドを打ち、大阪数学研究会の業務に専念。

1968年 33年間の教職生活にピリオドを打ち、大阪数字研究会の業務に専念。 1970年 有限会社大阪数学研究会代表取締役会長に就任。

1983年 株式会社公文教育研究会代表取締役会長に就任。

主な著書: 『公文式算数の秘密』(廣済堂出版)、『やってみよう』(くもん出版)、 『悪いのは子どもではない』(くもん出版)など多数。

公文 毅(1946-1997)

1946年 奈良県に生まれる。

1972年 神戸大学経済学部卒業後、野村證券株式会社勤務を経て、有限会社公文数学研究会入社。

1974年 同研究会・福岡事務局初代事務局長に就任。

1978年 有限会社公文数学研究会代表取締役社長に就任。 1983年 株式会社公文教育研究会代表取締役社長に就任。

主な著書: 対話集『どんな人間がこの時代を生きぬくか』(河出書房新社)

子どもたちに「生きる力」を。 学びの根幹となる基礎学力を育てます。

試験や受験のためのテクニックではなく、

将来にわたって通用する「生きる力」を育むために。

KUMONは、普遍的な基礎学力の養成に力を入れています。

社会で求められる「問題解決力」を育てる。

数学は基礎となる力を確実に身につけることで、さらに上のレベルの 課題を自分の力で学ぶことができる教科です。KUMONでは、工夫し て作られた教材と指導法で子どもたちが未知の学習課題まで学ぶこと を通して、自習する経験を積ませ、その方法を学ばせます。その結果、 社会に出て直面するさまざまな問題を自分で解決する力を育みます。 42a

【算数・数学教材の特長】

公文式算数・数学教材の目標は、高校数学の学習を容易にすること。教 材は高校課程→中学校課程→小学校課程というように"下降方式"で 内容を精選し、それぞれの段階の学力をしっかり定着させながら着実 にステップアップできるよう、全28教材・計5.470枚で構成されていま す。大きな特長は、代数計算が中心となっていること。微分・積分など の高度な問題も自分の力でスムーズに学習できるよう、長年にわたっ



1954年~



1981年~

LI 31a KUMON

英語 1980年~

豊かな人間性の基盤となる「読解力」を養う。

国語は、すべての学力の基本となる教科です。その礎となるのは豊かな 読書体験。KUMONは、四半世紀にわたり子どもたちの読書活動に 力を入れてきました。幅広い読書体験を通して知識や知恵を身につけ、 より深く感じ、考える力を養います。

【国語教材の特長】

公文式国語教材の目標は、高度な読書能力を養成すること。教材は身 近なことばの獲得から、古今東西の名著の研究考察的読解まで全34 教材・計6.800枚で構成。読書への発展を意図して、教材にはさまざま なジャンルの文章を取り入れています。また一人ひとりの子どもの読書 力にあった良書を選ぶための指標として、人気が高く内容的にも優れ た本を読みやすさの順に配列した「くもんのすいせん図書」(全650冊) を選定。教室では、子どもたちが楽しく本に触れあえるよう、くもんのす いせん図書を中心とする「くもん文庫」を設置しています。

世界につながる「英文読解力」を伸ばす。

インターネットの普及により、英語は情報収集の手段としてもます ます必要不可欠なものになっています。KUMONでは、挨拶程度の 会話力にとどまらず、専用リスニング機器をフル活用してリスニング 力を高めながら、英文を正確に読み取る力を伸ばしていきます。

【英語教材の特長】

公文式英語教材の目標は、高度な英文を自在に読みこなす読解力 を養成すること。全10冊の冊子教材と、計4,600枚のプリントから 構成されています。身近な言葉や簡単な表現をリズムよくくり返すと ころからはじめるので、初めて英語に触れる子どもたちも楽しく英語 の世界を広げていけます。

さらに楽しいストーリーやナチュラ ルな場面展開の中で生きた言葉と しての英文を聞き、復唱し、書いて 音読することで語彙力・構文把握 カ・リスニング力などを自然に身に つけていきます。これらの力をもと に、優れた文学・評論・演説などの 英文読解に進んでいくのです。



ちょうどの学習

一人ひとりの可能性を、最大限に伸ばす。 公文式は、年齢や学年の枠にとらわれません。

子どもたちの「やればできる」という自己肯定感を育み、 未知の領域にも、自分から挑戦する力を培いたい。 公文式は、一人ひとりの「可能性の追求」をめざす教育です。



年齢や学年に合わせるのではなく、「子ども」に合わせた学習を。 「個人別・学力別学習」

公文式の教室には黒板がありません。同じ 教室でも、たし算を学ぶ小学2年生もいれば、 分数を学ぶ小学2年生もいる。公文式では、 年齢別の一斉授業による同一カリキュラム では飽き足らない子も、学校の授業が難し いと感じている子も、自分の能力を最大限 に伸ばしていけるよう、一人ひとりの学習の

習熟度に応じた「ちょうどの学習」を追求 しています。公文式で学ぶ子どもたちは、 その子がらくに解けるところから学習を 始め、常に自分の力にあった教材を自分の ペースで解き進めることで、学ぶ楽しさや できる喜びを育みながら学力を高めます。



自ら進んで学ぶ力は、夢や目標を実現する力へ。

「自学自習で進む」

受け身ではなく、自分の力で課題に取り 組んでこそ学習意欲が芽生え、さらに先に 進もうとする向上心が生まれる。公文式は 「自ら学ぶ力」を大切にしています。新しい 課題の導入部には必要な解説や例題を設 けるなど、自分の力で上の段階へスムーズを実現する力になっていきます。 に進んでいけるための工夫もそのひとつ。

「ちょうど」の教材を一気に解くことで集中力 をつけ、つまずいたところや時間がかかり すぎたところは、十分な練習をする。解き方 や答えを教え込まれるのではなく、答えを 自分で導き出していく力は、やがて夢や目標







スモール・ステップ

- 一歩一歩、確実にステップアップ。
- 一人ひとりの「成長の過程」を大切にしたい。

公文式の教材は、子どもの「学ぶ力」を引き出すために、

- 誰もが自分の力で進めていけるようにきめ細かいステップで構成。

小さな進歩が、大きな成果へ。 無理せず、自分の力で進めていける教材を。

「スモール・ステップの教材」

公文式のすべての教材は、やさしい問題から高度な問題へ、非常にきめ細かい 「スモール・ステップ」で構成されています。そのため、常に一人ひとりに合った 「ちょうどの学習」を通じ、自分自身の力で少しずつ着実にステップアップしていく ことができるのです。多くの子どもにとって難しい箇所があれば、生徒の学習情報 の分析や指導者からの報告をもとに、内容を随時検討して教材そのものを改善 していきます。公文式の教材を進化させているのは、ほかならぬその教材を学習







2A たし算の基礎(暗算)

2 + 2 = m [+4= = 2+4= ... 4 + 4 =

B たし算、ひき算(筆算)

A たし算、ひき算(暗算)

3A 120までのすうじの書き、たし算の導入

4A すうじの練習、50までのすうじの書き

5A 50までのすうじの読み

A 10までのすうじの読み (2020年7月現在)



V 微分幾何(曲線、曲面) □ 線形代数(ベクトル空間、行列、行列式)

▼ | 解析学(微分・積分、多変数関数の微分・積分)

▼ 解析学(集合、数列と級数、微分・積分)

ベクトル解析、電磁気学

R 多変数関数の微分・積分、微分方程式、力学

○ ベクトル、複素数平面、式と曲線、行列

P 順列、組合せ、確率、統計

数列、極限、微分 ∨ 図形と方程式、三角比、三角関数

【 2次関数、高次関数、分数関数、無理関数、指数関数

因数分解、無理数、2次方程式、因数定理、等式・不等式の証明

■ 連立方程式、単項式·多項式、因数分解

4. 1 A T A F

G 正負の分数計算、文字式の計算、1次方程式

F 分数(四則混合)、文章題、小数

量 分数(加減乗除)

□ かけ算、わり算、分数、約分



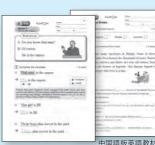
国や言語が変わっても、

教材はスモール・ステップ。 [母国語]

現在世界各地で使用されているKUMON の教材。母国語教材として、英語やスペ イン語、ポルトガル語、中国語なども学習 されています。もちろん、そのすべてが、ス モール・ステップの教材。あらゆる国の子 どもたちが、無理なくスムーズに学習を進 めていけるような構成です。さらに、教室 現場からのフィードバックにより、子どもた ちがもっと学習しやすい教材へと、日々、進 化を続けています。



タイ語母国語教材



日本語版フランス語教材

特|

長

指導者の存在



一人ひとりの可能性を引き出すために。 KUMONは、子どもたちから学ぶ集団です。

教えるのではなく、「自分でできた」に導く。 KUMONの指導者は、子どもの「できること」を見つけ、 可能性を追求するプロフェッショナルです。

子どもが、自分の力で伸びていくために。 「指導者の役割」

公文式教室の指導者は、問題の答えや解き方をすぐに教えることはありません。問題を解くのは、子ども自身の力。「その子のできること」を見つけて、潜んでいる可能性を引き出す存在。それが公文式の指導者です。子どもたち一人ひとりとしっかりと向き合い、その子の学力や個性・気持ちをきちんと把握したうえで、「ちょうどの学習」ができるようサポートすること。ほかの誰かと比較するのではなく、その子自身の成長を認め、ほめ、励ましていくこと。さらには保護者の方の相談に乗り、一緒になって子どもを見守っていくこと。子どもたちの成長を心から願う多くの指導者の存在があるからこそ、公文式は効果を発揮することができるのです。





子どもを観察し、「自分でできた!」に導く

学習中の子どもの様子を観察し、必要に応じてヒントや アドバイスを与えます。また、教材を解き終わった子ども たちの答案を採点します。間違いは、すぐに解き方や答え を教えるのではなく、ヒントを与えて、間違えた箇所や 理由を、その子ども自身が発見できるように促します。

学習の進め方を検討する

学習者の学習状況を成績表に記録し、その子どもが次に どう進んでいくべきか検討します。入会時に立てた学習の 見通しについても、定期的に点検を行い、必要に応じて 修正したり、指導のしかたを工夫します。





出発点を定め、見通しを立てる

入会時に行う学力診断テストの結果を参考に、その子が学習する「楽しさ」を実感できるよう、確実に100点を取れる段階の教材を学習の出発点に定めます。そしてその出発点から、いつまでに、どこまで伸ばすか、一人ひとりに適切な見通しを立てるところからスタートします。

自分の力で進める教材を判断する

成績表の記録や解答済みの教材、学習中の観察をもとに、その子が自分の力で進んでいけると判断した教材を用意します。新しいステップの教材に進んだ子や最近学習ペースが落ちている子などには、学習前に声をかけて、その日の学習のしかたや課題についてアドバイスします。



認め、ほめ、励ます

学習終了後は、その日の学習結果を確認して、ほめたり、励ましたり、学習意欲を高めるように子どもとコミュニケーションをとります。そして、家庭で学習する教材を渡し、家庭での学習についてアドバイスします。



保護者とともに子どもを伸ばす

指導者は、保護者との日常のコミュニケーションや個別 面談で、家庭学習の様子や課題を知り、また学習状況 だけでなく将来にわたっての学習計画をわかりやすく 伝えることで、保護者と一緒にその子どもの可能性を 広げ、能力を伸ばしていきます。



指導者は子どもたち一人ひとりの可能性を引き出すため、 日々、研鑽に励んでいます。また、指導者が互いに学び合う 研究大会が、地域・国単位のみならず世界規模でも行わ れています。このような学びを通してKUMONの教材や 指導法は深化し続けているのです。



時を越えて。国境を越えて。 すべては、一人ひとりのために。

「学び」を通じて一人ひとりの可能性を引き出したい。 小さな算数教室から生まれたKUMONの想いは、 世界中の国々で大きく花開いています。

> 1969年 国内学習者数 1万を超える

1960

1950

1955年

大阪府守口市に、公文式教材を 使用した算数教室を開設

1958年

大阪数学研究会創立

1977年 国内学習者数 20万を超える

1979年 国内学習者数 50万を超える

1974年

1970

『公文式算数の秘密』(廣済堂出版刊)が

公文式が一躍世間に広がったのは、創始者・公文公(く もん とおる)が最初に著した一冊の本がきっかけでし た。数十万人の具体的な指導実例と学習効果とともに、 公文式学習法の真意や理論を初めて公的に紹 介したことが大きな反響を呼び、問い合わせ 公文式算数の秘密 が殺到しました。

海外(ニューヨーク)で初めて算数教室を開設

からはじまりました。当初生徒の大半は日本人の子どもたちでした が、公文式の効果が現れるにつれ現地の子どもたちに広がっていき ました。現在では、現地の指導者による現地の子どもたちのための 教育として定着しています。

1975年

1990

1989年 国内学習者数 150万を超える

1985年

1986年

ペン習字教室スタート

ドイツ語教室スタート

フランス語教室・

全世界の学習者数 200万を超える 全世界の学習者数 300万を超える 全世界の学習者数 400万を超える

海外学習者数 50万を超える

2010

2000

2000年

グループ経営体制へ移行

2001年

学習療法の実践研究スタート

2001年

新KUMONロゴ誕生

KUM()N

2004年

インド ニューデリーに現地法人設立

2008年

KUMON創立50周年





1995年

1990年

現地法人設立

シンガポールに現地法人設立

1996年

南アフリカ ヨハネスブルグに 現地法人設立

2012年

Baby Kumon スタート

Baby Kumon



2014年

公文 公生誕100年記念式典

2018年

KUMON 創立60周年



1974年

海外での公文式は、1974年にニューヨークでの算数・数学教室

台湾に教室開設

サミトンの奇跡

1981年

1980

1980年

1980年

1980年

1981年

1982年

1984年

1984年

1988年

1988年

国語教室スタート

日本語教室スタート

香港に現地法人設立

英語教室スタート

ドイツ デュッセルドルフに現地法人設立

ブラジル サンパウロに現地法人設立

アメリカ ロサンゼルスに現地法人設立

オーストラリア シドニーに現地法人設立

国内学習者数 100万を超える

テレビのニュースで公文式を知ったアメリカ合衆国アラバマ州サミトン 校から「ぜひ授業に取り入れたい」との申し入れがあり、同校の正課の 授業に公文式が導入されました。それにより、KUMONの学力診断 テストの平均点が20点以上上昇する、というめざましい効果を発揮。 「サミトンの奇跡」として全米の有力メディアから大々的に報道され、 大きな反響が巻き起こりました。

世界への広がり

KUMONは、世界の共通語。 50を超える国と地域に、「学び」を届けています。

親が子どもを想う気持ちは、万国共通。 一組の親子からはじまった公文式だからこそ、 国境を越えて受け入れられています。

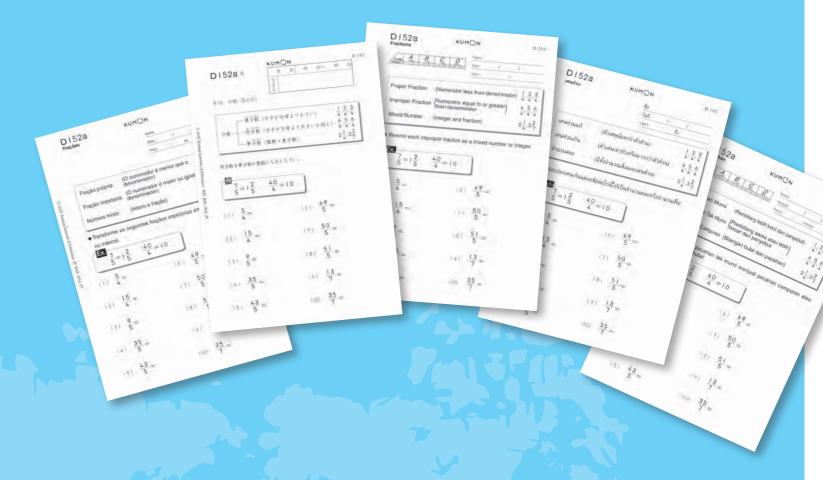
個人別・学力別学習だからこそ、世界で受け入れられる。

「教育は個人別・能力別に行われるべきである」という公文公の信念から生まれた公文式学習。そうして半世紀以上、経験や知恵を積み重ねてきたKUMONの個人別・学力別学習に国境はありません。「学びの根幹となる基礎学力を育てること」を目的とし、その学習効果が認知されてきたことで、文化や価値観、教育システムが異なる国や地域でも受け入れられています。

公文式学習法のメソッドは、 世界共通。

KUMONが世界に広がったもう一つの理由は、その独自のメソッドにあります。子どもの能力に合わせて確実なステップアップを図るスモール・ステップの教材は、世界共通です。紙と鉛筆さえあればどんな国でもできる、普遍的な教育法だからこそ、たとえ国が変わっても、変わることのない高い学習効果を発揮できるのです。





アジア 18カ国・地域

インド・インドネシア・韓国・カンボジア・シンガポール スリランカ・タイ・中国・日本・バングラデシュ フィリピン・ブルネイ・ベトナム・マレーシア ミャンマー・台湾・香港・マカオ



オセアニア 2カ国 オーストラリア・ニュージーランド

北米 4カ国



南米 7カ国 アルゼンチン・ウルグアイ・コロンビア・チリ ブラジル・ベルー・ボリビア



(2020年3月現在)

15

世代の広がり

子どもから、高齢者まで。

生涯を通じて、学ぶ喜びを届けたい。

学びを通じて能力を伸ばす喜びは、子どもだけのものではありません。 KUMONは、自らの可能性を広げ、豊かな人生を願うすべての人のために、 学びを軸とした地域コミュニティを創造し、地域社会に貢献します。



Baby Kumon

0~2歳の親子のためのBaby Kumon。「親子のきずなを育み、 伸びる子どもの土台をつくる」をコンセプトに、歌や読み聞かせ を中心とした「ことばのやりとり」を楽しめるようサポートします。

多様な学力に対応できる 公文式を、学校現場へ。

きる 高校生 大学生

高校や大学での公文式

生徒の多様性が広がるなか、学力や学習姿勢・意欲の格差に 悩む高校・大学。そうした学校現場から「公文式を学校で活用 したい」というご要望を受け、それぞれに合った方法で公文式 学習を導入。その効果が実感されるようになってきています。



健やかで心豊かなくらしを送る、 高齢社会に貢献する。

学習療法センター

高齢者

学習療法

脳機能の維持・改善を目的とする学習療法に取り組むのは 認知症高齢者の方々。学習療法は、で高齢者がその人らし く、いきいきとした生活を送れるよう介護施設などで活用さ れています。

脳の健康教室

脳の健康促進を図り、認知症予防をめざす教室。自治体やNPOなどが主催者となり、地域の方々が学習をサポートします。「読み書き」「計算」「コミュニケーション」を中心とした学びを通して、仲間づくりや世代間交流を促進し、地域コミュニティに貢献しています。





書写を通じて、 学び続ける楽しさを伝えたい。

(株)公文エルアイエル

手書き文字の上達をサポートする、公文の書写教室。手書き 文字の素晴らしさが見直されている今、「心」を伝える手書き 文字の良さ、年齢を問わず学ぶことのすばらしさを多くの人 に伝えています。幼児から高齢者まで世代を超えた学習者 が通う教室は、互いの存在を認め、高め合う地域交流の場 になっています。





外国語学習で、より広い視野を育む。

フランス語・ドイツ語

「公文式学習法であれば、フランス語・ドイツ語であっても、 誰でもできるようになる」という考えから生まれた教材です。 初心者、経験者に関わらず、フランス語・ドイツ語に関心を 持った幼児・小学生から、大学生・社会人までが学習してい ます。公文式算数・数学・英語・国語で高い学力を身につけ た生徒たちの更なる能力開発にも貢献しています。

国際化が進む地域のために日本語教育という貢献を。

日本語

外国人のための、KUMONの日本語教育。英語版・ポルトガル語版・中国語版の教材を活用し、出身国や年齢層もさまざまな生徒が「自学自習」で日本語を学んでいます。 グローバルな交流が進む今、日本各地で需要が高まっています。

書籍や知育玩具を通して、 子どもの可能性を引き出す。

(株)くもん出版

ドリル、カード、絵本・児童書などの出版物や知育 玩具の開発・販売を展開するくもん出版。子ども たちの学ぶ力を引き出す出版物や教育関連商品を 通して、子どもたちの未来に貢献することを使命と しています。教室現場で検証を重ねたその商品は、 一般市場でも高い評価を得ています。



より多くの方々に学ぶ喜び、成長する喜びを。

施設への導入

公文式による児童養護施設での学習支援は、創立間もない頃から始まりました。現在、公文式は児童福祉施設のほか、障害者のための放課後等デイサービス、

就労移行支援施設や就労継続支援施設、フリースクール、医療機関、更生施設などのさまざまな施設で導入。学習者の自立支援に活用されています。学習を通じて得られる学力の向上と態度面の変化は生活能力や社会性の向上にもつながっています。



就労移行支援施設での学習風景

どの子ももっと伸びる可能性をもっている。

障害児教育

欠如・多動性障害)、脳性マヒなど、抱えている障害がさまざまな子ども たちにも、できることは必ずあります。そこから、一人ひとりの能力に合わせた 公文式の「ちょうど」の学習で、"ことば"と"かず"の力を伸ばし、知的能力の 発達を促す。公文式の指導法と教材だからこそ可能な教育です。日本国 内では、何千人もの障害のある子どもたちが公文の教材で学んでいます。



『つくしんぼ、のびた』(くもん出版刊) 各地から寄せられた指導実践・学習の 軌跡をまとめた書籍。

英語を道具に世界を感じ、社会に貢献できる人材を。

English Immersion Activities

英語は今や世界の共通語。異なる言語やパックグラウンドを持つ人々が お互いを理解し合うための大切な道具です。KUMONでは英語でコミュ ニケーションする力を持ち、地球社会に貢献できる人材を育むための機 会を提供しています。2001年にスタートした「English Immersion Camp」は、世界各国出身のキャンプリーダーとの生活を通して、子ども たちが多様性への理解を深め、地球規模の視野を持つことを目指してい

ます。また、子どもたちが公文 ンを高める実践の場として ^rEnglish Immersion Day_J も実施しています。



「ことばで育む親子のきずなづくり」を広めたい。

子育で応援活動

子育て中の方々にお伝えするために、KUMONは歌や絵本の情報満載の 記録サイト「mi:te(ミーテ)」の運営、大学との共同研究などに取り組んで TOEFL Junior®はTOEFL iBT®へとレベルアップしていく英語運用能力 います。



18



「mi:te(ミーテ)」 https://mi-te.kumon.ne.jp/

江戸の子ども文化を通じて、現代にメッセージを。

「子ども浮世絵」コレクション

広汎性発達障害、知的発達遅滞、ダウン症、LD(学習障害)、ADHD(注意 KUMONでは、文献では知ることのできない江戸時代の子どもの生活や 子育ての様子を生き生きと描き出す「子ども浮世絵」を中心とした子ども 文化史料を3,200点所蔵。寺子屋をはじめとした子どもの学び、「子宝 思想」と呼ばれる子どもを大切に育てる江戸社会の在り方は、現代の

> 用を通じ、社会全体で子どものよりよ い未来を考えるきっかけづくりを進め ていきます。



「くもん子ども浮世絵ミュージアム」公開中 https://www.kumon-ukiyoe.jp/

歌と読書に親しみ、豊かな心の成長を。 協賛活動

親と子のきずなとしての童謡を大切に歌い継いでいってほしいと願って 1986年から開催されている「童謡こどもの歌コンクール」。物語の創作を 通して子どもたちにもっと物語を読むことの楽しさを体験してほしいという 想いから2000年子ども読書年に創設された「おはなしエンジェルー子ども 創作コンクール」。歌や読書を通じた子どもたちの心の成長を後押しする ため、KUMONはこれらの活動をサポートしています。





「童謡こどもの歌コンクール」

入賞作品を絵本化した 『一日だけうさぎ』(くもん出版刊)

グローバル人材の育成をめざした若年層向けTOEFL®

TOEFL Primary®、TOEFL Junior®の広がり

歌や読み聞かせを通した「ことばで育む親子のきずな」を、地域のより多くのグローバル・コミュニケーション&テスティングは、2011年より若年層 向けTOEFL®のテスト普及・運営を行っています。TOEFL Primary®や テストであり、世界基準で自分の英語力を測れるテストとして、さらなる 広がりを見せています。受験結果は合否判定ではなくスコアで表される ため、学習の目標が立てやすく、継続的に力の伸びを把握することができ ます。



『読み聞かせは心の脳に届く』 (くもん出版刊)

Overview

「個人別教育を通じて地球社会に貢献する」

KUMONは創立以来、子どもたちに高い学力を身につけてほしい、自ら学んでいく力を身につけてほしいとの思いで、実践を積み重ねてまいりました。目の前の学習者一人ひとりの可能性を信じ、その能力を最大限に引き出すために、その子にとっての「ちょうど」を見つけ、最適な教材を与え指導していく。一人の父親がわが子のために考案したこの公文式学習法は、今や世界50を超える国と地域に広がっています。

公文式学習法が、このように国境や人種、文化や習慣といった枠を越え、グローバルに共感をもって受け入れられているのは、すべての人間が持っている限りない可能性を信じ、個人別教育を徹底して追求するところにあると思っています。親は誰でも、わが子の可能性を信じ、将来こんな人間に育ってほしいという思いを持っています。公文式教育は、高い基礎学力をつけるだけでなく、子どもたちに未知の内容を自分の力で解き進めていける喜びを体験させることで、実社会に出ても、自ら学び、物事に積極的に取り組み、自分の道を自分の力で切り拓いていける自立した人間に育っていくことを目標においています。そして、それを可能にしているのが、一人ひとりの学習者の「ちょうど」を見極めるKUMONの指導者の存在と、誰もが自分の力で進めていけるようにきめ細かいステップで構成された公文式の教材です。この二つが組み合わさることで、個人別に「ちょうど」の学習が可能となり、年齢や学年に関わらず、すべての子どもたちに対してその能力を伸ばしていくことができるのです。公文式教育がわが子の成長を願う親の気持ちに寄り添い、確実に成果を上げる具体的な学習方法だから、世界中で受け入れられているのだと思います。

この「個人別教育」、「ちょうどの学習」という公文式の考え方と実践は、子どもたちだけにとどまりません。現在では、乳幼児から高齢者の方々まで、世代を超えて様々な対象に広がりを見せています。そこには、多様化する社会の中での、「個」を大事にした学びを求める声と、それを実践してきた公文式に対する期待の高まりを感じます。今後とも、こうした期待にお応えできるよう、目の前の学習者への実践を積み重ね、そして学習者から学び続けることで公文式を磨き、より一層世の中に貢献できる機会を広げてまいりたいと思います。

グローバル化、多様化が進む社会において、人材の育成がますます重要な課題となっています。より良い教育が希求される今、私たちは自らの責任と使命を心に刻み、個人別教育を通じた地球社会への貢献、さらにはその先にある世界平和への貢献に向けて、日々邁進してまいる所存です。

株式会社 公文教育研究会 代表取締役社長

池上秀德

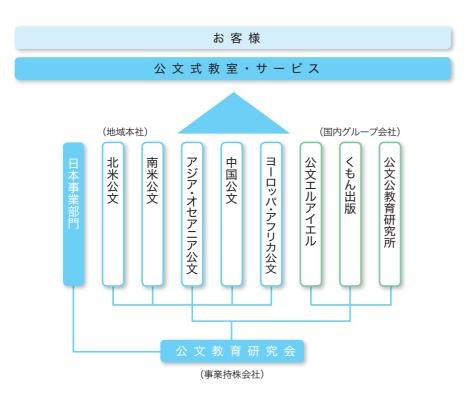
沿革	
1954年 ●公文公が小学2年生の長男のために計算問題を ルーズリーフに書き、自習形式の学習を開始〈公文式の原型〉	1994年 ●ポルトガル語母国語教材、ブラジルで使用開始
1955年 ●大阪府守口市に、公文式教材を使用した算数教室を開設	1995年 ●創始者 公文 公永眠 ●シンガポールに現地法人設立 ●チリ サンティアゴに現地法人設立
1958年 ●大阪数学研究会創立	●メキシコメキシコシティに現地法人設立 ●中国 上海に現地法人設立
1962年 ●(有)大阪数学研究会設立 ●東京で第一号教室を新宿区に開設	1996年 ●(株)公文エルアイエル(公文書写)設立 ●南アフリカ ヨハネスブルグに現地法人設立 ●フィリピン マニラに現地法人設立
1963年 ●東京事務局開設	1997年 ●公文 毅永眠 ●マレーシア クアラルンプールにオフィスを開設
1972年 ● (有)大阪数学研究会を(有)大阪公文数学研究会に 社名変更、(有)東京公文数学研究会設立	1998年 ●タイ バンコクに現地法人設立 40周年 ●アルゼンチン ブエノスアイレスに現地法人設立
1974年 ●海外(ニューヨーク)で初めて算数教室を開設 ●『公文式算数の秘密』(廣済堂出版)がベストセラーとなる	
1975年 ●台湾に教室を開設	2000年 ●インドネシア ジャカルタに現地法人設立 ●グループ経営体制へ移行 ●(株)公文公教育研究所設立
1977年 ●幼児向けドリル刊行開始	2001年 ●第一回世界リーダー研修開催
1979年 ●第一回全国公文指導者研究大会開催	第一回English Immersion Camp開催産官学による学習療法の実践研究がスタート新KUMONロゴ誕生
1980年 ●英語教室スタート ● ブラジル サンパウロに現地法人設立 ● ドイツ デュッセルドルフに現地法人設立	2003年 ●KUMON看板一斉架け替え 45周年
1981年 ●国語教室スタート ●第一回公文障害児指導研究大会開催 ● (有)大阪公文数学研究会、(有)東京公文数学研究会を それぞれ株式会社に組織変更	2004年 ●EFL(外国語としての英語)教材、ブラジルで使用開始 ●スペイン語母国語教材、南米5カ国で使用開始 ●インドニューデリーに現地法人設立 ●コロンビア ボゴタに現地法人設立
1982年 アメリカ ロサンゼルスに現地法人設立 (株)大阪公文数学研究会と(株)東京公文数学研究会が 合併し、(株)公文数学研究会となる	2005年
1983年 ●(株)公文数学研究会より(株)公文教育研究会に社名変更 25周年	2006年 ●ベトナム ホーチミンに現地法人設立
1984年 ●オーストラリア シドニーに現地法人設立 ●日本語教室スタート	2008年 ●タイ語母国語教材、タイで使用開始 50周年
1985年 ・ペン習字教室スタート	
1986年 ●フランス語教室・ドイツ語教室スタート	2011年 OTOEFL Junior®の普及・運営を開始
1988年 ● (株)くもん出版設立 30周年 ●香港に現地法人設立	●中国 北京に現地法人設立
●カナダトロントに現地法人設立 ●アメリカの公立小学校に、公文式算数が導入される	2012年 ●Baby Kumon スタート
	2014年 〇公文 公生誕100年 OTOEFL Primary®の普及・運営を開始
1990年 ●英語母国語教材、オーストラリアで使用開始 ●イギリス ロンドンに現地法人設立	2018年 ②マカオに現地法人設立 60周年
1991年 ●スペイン マドリードに現地法人設立	

20 21

35周年

1993年 ●中国語母国語教材、台湾で使用開始

KUMONグループ組織図(略図)



株式会社 公文教育研究会

代表取締役社長: 池上 秀徳

所在地 : 大阪/〒532-8511

大阪府大阪市淀川区西中島5丁目6番6号 公文教育会館

東京/〒108-0074

東京都港区高輪4丁目10番18号 京急第1ビル12階

: 4,151人(KUMONグループ全体)(2020年3月現在)

<海外>

大代表(TEL) : 06-6838-2611

創立 : 1958年7月(昭和33年) 設立 : 1962年8月(昭和37年) 資本金 : 44億18百万円(2020年3月決算) 連結売上高 : 917億70百万円(2020年3月決算)

連結経常利益 : 132億25百万円(2020年3月決算) 拠点数 : 国内73力所、海外100力所(2020年3月現在)

URL : https://www.kumon.ne.jp

公文教育会館

世界57の国と地域(日本含む)

<展開国数>

■教育事業関連データ (2020年3月現在)

<国内>

 学習者数
 : 144万
 学習者数
 : 247万

 教室数
 : 1万6,100教室
 教室数
 : 8,800教室

教室数 : 1万6,100教室 教室数 : 8,800教 教室指導者数 : 1万4,400人 教室指導者数 : 8,500人

※学習者数は全教科合計学習者数

従業員

地域本社

●北米公文

社名: Kumon North America, Inc.所在地: 55 Challenger Road, Suite 300

Ridgefield Park, NJ 07660, U.S.A.

代表取締役社長 : 田邊 稔

URL : https://www.kumon.com

●アジア・オセアニア公文

社名 : Kumon Asia & Oceania Pte. Ltd. 所在地 : 30 Cecil Street

#29-01 Prudential Tower 049712 Singapore

代表取締役社長: 前田 稔

URL : https://kao.kumonglobal.com

●ヨーロッパ・アフリカ公文

社名 : Kumon Europe & Africa Ltd. 所在地 : 4th Floor West, Ealing Cross 85 Uxbridge Road, Ealing

London, W5 5TH U.K.

代表取締役社長: 清水 正宏

URL : https://www.kumon.co.uk

●南米公文

社名 : Kumon América do Sul Instituto de Educação Ltda. 所在地 : Rua Tomás Carvalhal, 686

: Rua Tomás Carvalhal, 686 Paraíso, CEP 04006-002

São Paulo, SP. Brasil

代表取締役社長 : 渡部 一徳

URL : https://www.kumon.com.br

●中国公文

社名 : Kumon China Co., Ltd.

所在地 : Units 3403-3408, 34/F., Chubb Tower,

Windsor House, No. 311 Gloucester Road, Causeway Bay

Hong Kong 代表取締役社長:湊 行史

URL : http://www.kumonbj.com.cn/zh-cn/

国内グループ会社・会社概要

(株)くもん出版

1980年に公文教育研究会の出版部門として 発足し、1988年に独立。ドリル、カード、絵本・ 児童書などの出版物や知育玩具の開発・販売を通 して、子どもたちの成長をバックアップしている。

■所在地:東京都港区高輪4丁目10番18号

京急第1ビル13階 ■TEL: 03-6836-0301 ■設立: 1988年2月(昭和63年)

■資本金:1億円

■代表取締役社長:志村 直人

■URL: https://www.kumonshuppan.com



(株)公文エルアイエル

1985年に公文教育研究会の新規事業部門として発足し、1996年に独立。生涯学習を事業テーマに多くの人が「書写」を通じて学ぶ喜びを知り、心豊かな人生を過ごせるよう支援している。幼児から高齢者まで、世代を超えた幅広い年代の支持を得ている。

■所在地:大阪市淀川区西中島5丁目6番6号

公文教育会館
■TEL: 06-6838-1264
■設立: 1996年9月(平成8年)
■資本金:5,000万円

■代表取締役社長:八木 郁哉

■URL: https://www.kumon.ne.jp/lil/



(株)公文公教育研究所

公文式の創始者・公文公の教育思想を継承・発展させることを目的に、1995年に部署として発足、2000年に独立。世界各国に広がる公文式の教材・指導法を正しく継承させることを使命とする。教育情報の調査・研究なども手がけ、公文式教育の価値を、KUMONグループ全体で共有するための中心的役割を担っている。

■所在地:大阪市淀川区西中島5丁目6番6号

公文教育会館
■TEL: 06-6838-2639
■設立: 2000年10月(平成12年)

■資本金:5,000万円 ■代表取締役社長:紙西 英利

■URL: https://www.kumon.ne.jp/toru/



創始者 公文公が設立した、学校法人公文学園

のびてゆく幼稚園

■ 開園:1982年4月

■ 所在地:大阪府高槻市黄金の里1-3-1



公文国際学園

■ 開校:1993年4月(中等部)、1996年4月(高等部)

■ 所在地:神奈川県横浜市戸塚区小雀町777



スイス公文学園高等部

Kumon Leysin Academy of Switzerland

■ 開校:1990年5月

■ 所在地: Route de Versmont 6, CH-1854 Leysin, Switzerland





私たちには「夢」があります。

教育を通じて世界平和に貢献することです。

私たちは、個人別教育による人材の育成を通じて、

その夢の実現に向かってまいります。

Mission

公文の理念

われわれは

個々の人間に与えられている可能性を発見し その能力を最大限に伸ばすことにより 健全にして有能な人材の育成をはかり 地球社会に貢献する



世界のあらゆる国と地域で、
KUMONメソッドで学ぶ機会を提供し、
学習者が夢や目標に向かって
自分から学習している状態を目指す



THINKING FACE。それは、教室で学び、考え、成長する子どもたちの顔であり、同時に、子どもたちのことを考え、成長し続けるKUMONの先生、社員の顔でもあります。「どうしたらこの子を伸ばしてあげられるか」KUMONに関わるすべての人は、真剣に教育について考え、子どもたちに学び、ともに成長したいと願い、実践にうつしています。KUMONブルーは、知性、誠実さ、そして世界につながる大空の色。世界が一つに結ばれ、子どもたちの未来が大きく広がるように、そして、教育について世界中の人がさらに真剣に考えるようになるという願いも託しています。

「Mission」と「Vision」、そしてそれらを実践するための行動指針となる「Value」。私たちはこの3つを共有することで、地球社会の一員として、子どもたちの成長と幸せに貢献していきます。

Value

THE KUMON WAY

わたしたちが大切にするもの

わたしたちが一番大切にするもの、それは「子どもたち一人ひとり」です。

「すべての公文式学習がその子の成長と将来に向け必ず役に立つ学習経験であること」 「ひとりでも多くの子どもたちに公文式で学ぶ機会を提供すること」 わたしたちは、この二つを

常に、心の真ん中に置いてすべての活動に臨みます。

それは公文式が存在し発展する唯一の「理由」であり子どもたちへの「責任」でもあると思います。

もし、道の途中で迷ったり意見が分かれても

「本当にこれが子どもたちのためになるのだろうか」 必ずそう自分に問いかけ、互いに進むべき方向を確認し合いながら

もっとこの教育法の価値を高め

ひとりでも多くの子どもたちに公文式で学んでもらうために

全力で取り組みます。

次に大切にするもの、それは「志を同じくし共に歩む人たち」です。

わたしたちは、

公文式教室の先生方をはじめ

「子どもたちを大切に想い、共に教育を通じて社会貢献に携わっていただける人たち」

そのすべての人に対して最大の敬意をはらいます。

そして心からの感謝と親しみを持ち、

「全力の支援」と「一体となった活動」を

大切にします。

次に大切にするもの、それは「すべての社員」です。

わたしたちはすべての社員が安心できる生活を保証され、適切な処遇を受けながら 使命感とやりがいを持っていきいきと仕事に取り組み、日々成長していけるような 風土と環境作りに努力することを大切にします。

次に大切にするもの、それは「地域社会との関わり」です。

わたしたちは日々生活し活動する地域社会に感謝し よき「企業市民」として

自然環境や資源の保護あるいは地域教育や文化の向上など より良い地域社会を創りあげるための、様々な活動に積極的に参加し

この地球社会全体への義務と責任を果たしていくことを

大切にします。

そして最後に、わたしたちは、以下の三つを心に刻み、どんなときも大切にして行動します。

1)自らの言動に対して「これは公正かつ道義にかなったものであるか」を常に問いかけ、社会人として正々堂々と胸を張れる人間であることを誓います。

2)教育に携わる者の「誇り」と「信念」を持ち、常に「素直に喜び感動できる」人間であるよう努力します。

3)常に「謙虚な姿勢」を持ち、昨日よりは今日、今日よりは明日と、「日々成長し続ける」人間であるよう努力します。









公文教育研究会